

科目名		灸実技 1							年度	2025
英語科目名		Moxibustion Practice 1							学期	前期
学科・学年		鍼灸科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員		宮本陽平	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】										
・灸に関する基本的な技術と知識を修得し、灸施術を安全かつ確実に行う能力を身につける。 ・臨床家としての態度、姿勢を身につける。										
【科目の概要】										
・米粒大、半米粒大に艾を捻り分ける。 ・安全かつ適確に艾柱に点火する。 ・人体へ安全かつ確実に施灸する。 ・医療人としてふさわしい態度、身なりで施術する。										
【到達目標】										
A：米粒大の艾柱（底辺2.5mm×高さ5～6mm）を捻る B：半米粒大の艾柱（底辺2mm×高さ4mm）を捻る C：艾柱への点火が確実にできる D：紙上施灸を15分で60壮を点火する E：相手に対して不快感、熱感を与えずに施灸する										
【授業の注意点】										
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	作成した艾柱が一定して規定の大きさである	作成した艾柱のうち、規定の大きさで99～70％捻れる	作成した艾柱のうち、規定の大きさで69～40％捻れる	作成した艾柱のうち、規定の大きさで39～10％捻れる	規定の大きさが捻れない					
到達目標 B	作成した艾柱が一定して規定の大きさである	作成した艾柱のうち、規定の大きさで99～70％捻れる	作成した艾柱のうち、規定の大きさで69～40％捻れる	作成した艾柱のうち、規定の大きさで39～10％捻れる	規定の大きさが捻れない					
到達目標 C	一度の動作で速やかに艾柱が燃焼する	時間がかかっても安全に点火できる	釣り上げ、倒れがあっても速やかに対応できる	釣り上げ、倒れた際の処理、点火が遅い	線香の落下、皮膚への接触など危険がある					
到達目標 D	10分で60壮点火できる	12分で60壮点火できる	15分で60壮点火できる	15分で55壮点火できる	15分で54壮以下の点火である					
到達目標 E	相手に不快感を一度も与えない	問題点をすぐに修正できる	不快感を与える施灸が10％以下である	不快感を与えた際に修正できない	全ての施灸で不快感を与える					
【教科書】										
『はりきゅう実技＜基礎編＞（東洋療法学校協会編）』										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
期末試験で100％評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		灸実技 1			年度	2025
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	灸の基礎知識	灸術について知る	1 オリエンテーション	実技授業の方針、準備、進め方を理解する	2	
			2 灸術の概要	艾、灸術について理解する		
			3 灸術の種類	灸術の種類について理解する		
2	艾ひねり	艾のひねり方	1 事前準備	透熱灸に必要な用具を準備する	2	
			2 手の動かし方	艾の捻り方を身につける		
			3 艾柱の形	円錐形の艾柱を捻って作成する		
3	艾柱の大きさ	艾のひねり分け	1 艾柱の縋り出し	捻りながら縋り出す動きを身につける	2	
			2 米粒大の作成	米粒大に縋り出す動作を身につける		
			3 艾柱を立てる	捻った艾柱を立てる動きを身につける		
4	艾柱の大きさ	艾のひねり分け	1 半米粒大の作成	半米粒大に縋り出す動作を身につける	2	
			2 艾柱を立てる	捻った艾柱を立てる動きを身につける		
			3 捻り分け	目的とする大きさを意識的に作成する		
5	点火	線香を用いた点火方法を知る	1 事前準備	点火に必要な用具を準備する	2	
			2 線香の持ち方	線香の持ち方を理解する		
			3 点火	艾柱への点火方法を理解する		
6	点火	安全に点火する	1 灰の払い方	安全に先端の灰を払う動作を身につける	2	
			2 支点	手で支点を作る		
			3 練習器での点火	練習器上で安全に点火できる		
7	点火	紙上施灸練習で点火の精度を上げる	1 紙上施灸の準備	紙上施灸練習に必要な用具を準備する	2	
			2 紙上施灸	紙上施灸練習法を理解する		
			3 紙上施灸	紙上施灸練習を実践する		
8	中間チェック	ひねりと点火の基本技術を確認する	1 態度	医療人らしい振る舞いを実践する	2	
			2 捻り分け	艾柱の捻りわけができる		
			3 点火	安全な点火ができる		
9	人体への施灸	相手に対して施灸する	1 紙上施灸	15分で42壮を点火する	2	
			2 対人施灸の準備	対人施灸に必要な用具の準備、誘導をする		
			3 対人施灸	相手に対して透熱灸を安全に施灸する		
10	人体への施灸	相手に対して施灸する	1 紙上施灸	15分で45壮を点火する	2	
			2 対人施灸	相手に対して透熱灸を安全に施灸する		
11	人体への施灸	相手に対して施灸する	1 紙上施灸	15分で48壮を点火する	2	
			2 対人施灸	相手に対して透熱灸を安全に施灸する		
12	人体への施灸	相手に対して施灸する	1 紙上施灸	15分で54壮を点火する	2	
			2 対人施灸	相手に対して透熱灸を安全に施灸する		
13	人体への施灸	相手に対して施灸する	1 紙上施灸	15分で60壮を点火する	2	
			2 対人施灸	相手に対して透熱灸を安全に施灸する		
14	期末試験	紙上での連続施灸を行う	1 紙上施灸	一定の速度以上で、安全かつ正確に施灸する	2	
15	フィードバック 総復習	試験結果を個別に講評、振り返りをする	1 紙上施灸	15分で60壮を点火する	2	
			2 自主練習	試験の結果を踏まえ、修正・改善をする		
			3 後期授業の説明	後期授業の概要を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等